

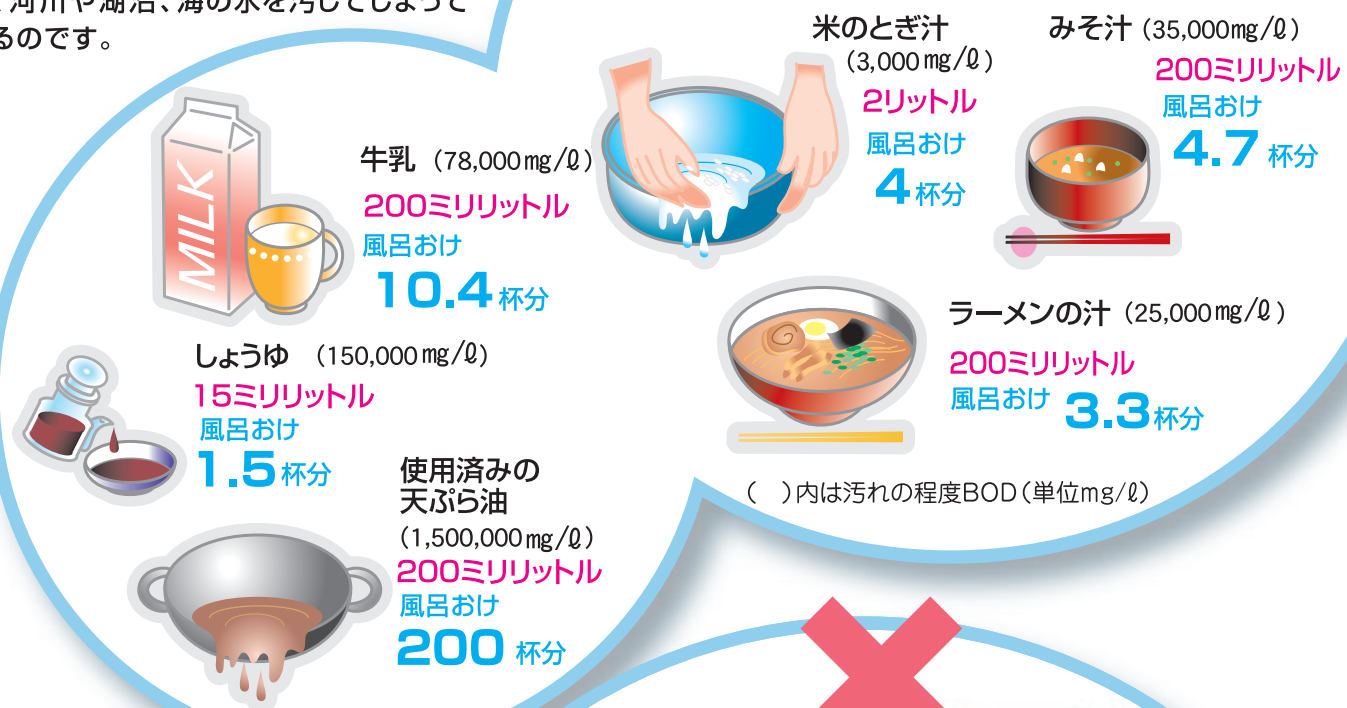
河川や湖沼・東京湾の汚れは、未処理の生活排水が主な原因です。

河川などの汚れの原因は主に家庭から排出される生活排水といわれています。

私たちが、日頃何気なく流してしまっている米のとぎ汁やラーメンの残り汁などが、河川や湖沼、海の水を汚してしまっているのです。

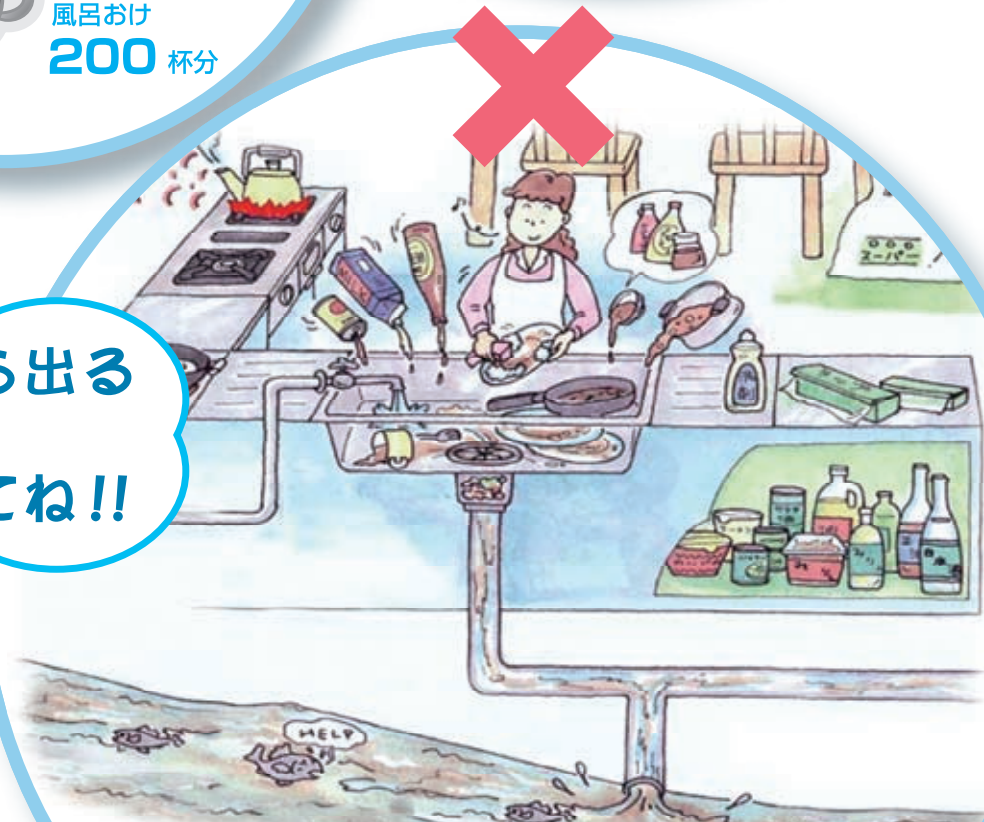
もし、これだけの汚れのもとを家庭から流すと…!

魚がすめる水質にするために必要な水の量は浴槽何杯分?



台所から出る排水に注意してね!!

何でも流してしまうと、浄化槽で働いている微生物が食べきれない汚れが川に流れてしまうよ!



台所では

◆台所からの排水について

油はできるだけ浄化槽内に流入させないでください。(フライパンに残った油は、紙等で拭き取ってから洗ってください。)



油を捨てる場合は、新聞紙等に染み込ませて、生ごみと一緒にし、ごみ収集に出しましょう。



●食用油のBOD濃度は、1,500,000mg/Lもあるよ。

流し台の三角コーナーは、こまめに掃除して、野菜くず等は流さないようにしてください。



浄化槽は微生物の働きで浄化しています



台所やトイレから流れる汚れた水は有機物です。浄化槽の中では、有機物は微生物によって食べられ、分解されて、きれいな水になります。汚れた水をきれいにする主役は微生物たち。浄化槽はその微生物たちが活発に活動できるようにつくられた浄化装置です。

嫌気性微生物



酸素のないところで汚物を食べる。

好気性微生物

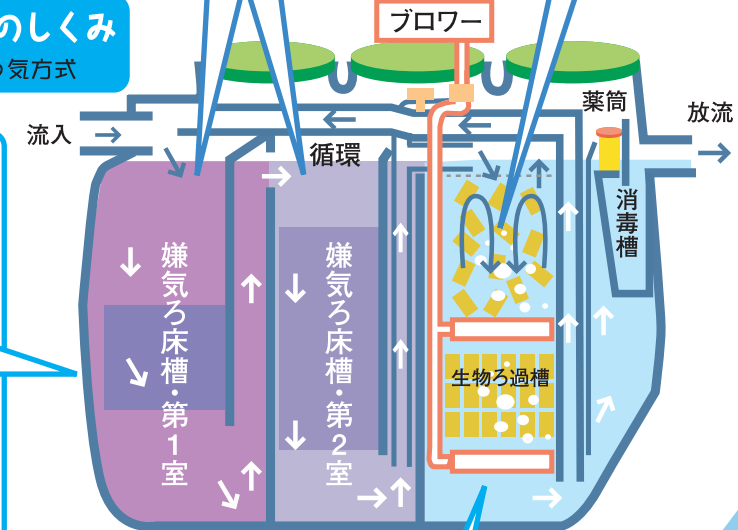


酸素のあるところで汚物を食べる。

合併処理浄化槽のしくみ

嫌気ろ床接触はつ気方式

嫌気ろ床槽は汚水物質を取り除く働きで嫌気性微生物が汚れを分解します。



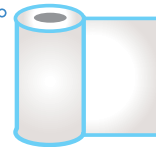
生物ろ過槽はブローから送り込まれる空気がある状態で接触材に付いて増殖した好気性微生物が汚れを活発に分解します。

浄化槽の使い方を守りましょう



- ◆トイレの掃除はできれば水やぬるま湯で。
- ◆トイレトイレットペーパー以外の異物を流さない。

新聞紙、タバコの吸殻、紙おむつ、衛生綿、生理用品などの異物は絶対に流さないでください。



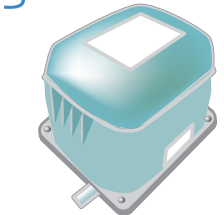
- ◆洗濯等の洗剤は適量使用してください。

洗剤を多量に使うと、水質を悪くするおそれがあります。適量を使用してください。



- ◆ブロー(モーター)が停止していたら

電源のコンセントは抜けていませんか? それ以外の場合は保守点検業者に連絡してください。



浴槽の水と洗濯の水は一緒に流さないでください。

汚物が押し流されることがあります。



浄化槽の上に物を置かないでください。

保守点検が正しくできなくなります。



*BOD(生物化学的酸素要求量)というのは、水の汚れ(有機物)が微生物の働きで分解される時に消費される酸素の量で、BODの数値が高ければ、それだけ汚れが多いと言えます。